

平成17年6月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成16年11月10日

会社名 朝日インテック株式会社 (コード番号：7747 登録銘柄)  
 (URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>)  
 代表者 役職名 代表取締役社長  
 氏名 宮田 尚彦  
 問合せ先 責任者役職名 常務取締役管理本部長  
 氏名 竹内 謙次 (Tel : (052) 768 - 1211)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の有無 : 有  
 ・ たな卸資産のたな卸高は帳簿たな卸によって算定しております。その他影響額が僅少なもののについては、一部簡便な方法を採用しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 ・ 連結（新規）1社（ASAHI INTECC USA, INC.）

2. 平成17年6月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年7月1日～平成16年9月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
平成17年6月期第1四半期	1,791 ( - )	337 ( - )	307 ( - )	195 ( - )
平成16年6月期第1四半期	- ( - )	- ( - )	- ( - )	- ( - )
(参考)平成16年6月期	6,271	1,123	995	693

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成17年6月期第1四半期	27.65	-
平成16年6月期第1四半期	-	-
(参考)平成16年6月期	114.76	-

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。  
 2. 四半期財務・業績の概況は当第1四半期より作成しておりますので、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期におけるわが国経済は、輸出を中心とした企業収益の改善や設備投資の増加等により、景気は緩やかに回復する傾向が見られました。

こうした状況の中、当社グループは、医療機器分野の欧米市場を中心とした海外展開を強化し、海外売上高比率を向上することが出来ました。加えて、全社をあげて、生産性の効率化、及び技術力・開発力の向上に努め、業績向上を目指してまいりました。

その結果、当第1四半期は、売上高17億91百万円、営業利益3億37百万円、経常利益3億7百万円、四半期純利益1億95百万円を計上いたしました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成17年6月期第1四半期	11,351	6,047	53.3	848.66
平成16年6月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)平成16年6月期	11,194	5,782	51.7	750.43

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成17年6月期第1四半期	57	335	68	2,680
平成16年6月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)平成16年6月期	742	334	764	3,026

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は1億56百万円増加しました。これは主に有形固定資産の増加2億66百万円によるものであります。株主資本は2億65百万円増加し、株主資本比率は53.3%となりました。これは主に第三者割当増資2億25百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、57百万円の増加となりました。主な要因は、税引前四半期純利益が3億6百万円となったものの、売上債権の増加1億49百万円及び法人税等の支払額1億45百万円があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億35百万円の減少となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出3億28百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、68百万円の減少となりました。主な要因は、配当金の支払額1億25百万円によるものであります。

3. 平成17年6月期の連結業績予想（平成16年7月1日～平成17年6月30日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	3,558	564	353	
通期	7,381	1,269	803	112.97

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当期の予想につきましては、当該四半期における業績が概ね計画どおり推移しており、中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

添付資料

- ・(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書
- ・(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

## 経営成績

### 第1四半期の概況

当第1四半期（平成16年7月～平成16年9月）の経営成績は、売上高17億91百万円、経常利益3億7百万円、四半期純利益1億95百万円となりました。事業の種類別セグメントの営業概況は以下となります。

#### <メディカル事業>

当社グループは、医療機器分野における循環器の治療用カテーテルシステムについて、欧米市場を中心としたグローバル展開を加速化する事を中期戦略の一つに掲げております。グローバル市場環境は、米国を中心に各国で薬剤ステントの普及が拡大することなどに伴い、P C I 治療件数も拡大傾向にございます。このような中、当社グループは、平成15年10月に米国のアボットラボラトリーズ社とP T C A ガイドワイヤーの米国、欧州などにおける独占販売代理店契約を締結、また平成16年6月にはオランダ アムステルダムに欧州駐在所を設置、さらに、平成16年7月には米国駐在所を廃し現地法人 ASAHI INTECC USA, INC. を設立し、販売強化のための基盤整備をいたしました。その結果、治療用カテーテルシステムは、主力製品であるP T C A ガイドワイヤーが、海外市場を中心として、販売数量、売上高ともに計画を上回り、大変好調に推移いたしました。

一方、検査用カテーテルシステムについては、国内市場においては、競合他社間の市場競争が激化する中、新製品投入等を積極的に実施いたしました。また海外市場では、欧州、アジアを中心に代理店を通じた積極的な入札参加を実施し、売上は増加傾向にございます。

以上の結果、当事業の売上高は8億31百万円となりました。

#### <メディカルデバイス事業>

医療機器業界での同業者間における価格競争が激化していることにより、大手医療機器企業が、強力な販売網を活かし販売に注力すべく、製品製造についてアウトソーシングに委ねる傾向にございます。

このような環境の中、O E M 供給品につきましては、世界有数のメディカル総合企業へO E M 供給しております透析用ガイドワイヤーが好調に推移し、また前連結会計年度より販売開始をいたしました肝臓ガン治療用ガイドワイヤー、末梢血管用ガイドワイヤーについても、大変順調に推移しております。

医療部材につきましては、内視鏡関連製品が大手取引先の海外展開が好調であることに加え、当社トルク技術製品の採用が増加したことの影響を受け、受注が増加傾向にございます。また、ケーブルチューブ「A C T O N E」についても、米国のFoxHollow Technologies, Inc. 社が、血管内アテレクトミーカテーテルの部材に使用するなど、医療機器部材としての使用機会が増加し、売上は大幅に伸張いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は3億86百万円となりました。

#### <インダストリアルデバイス事業>

端末加工品につきましては、韓国、中国を中心とした海外廉価製品との価格競争の激化や、O A 機器複合化に伴い製品の市場価格が下落傾向にあるなど、厳しい環境におかれておりますが、国内企業の設備投資の活性化に伴い建築市場への売上が増加、また液晶関連をはじめとした新分野・新市場への展開を積極的に推進することなどにより、売上は堅調に推移いたしました。

ワイヤー素材などにつきましても、前連結会計年度に引き続きハイテク企業の設備投資拡大を受け、液晶関連の設備投資拡大による売上が好調であることや、耐圧ホース用補強材として使用される線材の売上が増加するなど、売上は順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は5億73百万円となりました。

1.(要約)四半期連結貸借対照表

科目	当第1四半期連結会計期間末 (平成16年9月30日)		(参考) 平成16年6月期	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
1.現金及び預金	3,290,493		3,642,405	
2.受取手形及び売掛金	1,708,446		1,562,254	
3.たな卸資産	1,242,985		1,210,002	
4.繰延税金資産	105,361		74,113	
5.その他	372,980		343,544	
貸倒引当金	2,205		2,243	
流動資産合計	6,718,061	59.2	6,830,077	61.0
固定資産				
1.有形固定資産	3,716,912		3,450,793	
2.無形固定資産	142,528		145,511	
3.投資その他の資産	860,757		848,974	
貸倒引当金	86,600		80,600	
固定資産合計	4,633,598	40.8	4,364,680	39.0
資産合計	11,351,659	100.0	11,194,757	100.0
(負債の部)				
流動負債				
1.支払手形及び買掛金	486,863		571,284	
2.短期借入金	1,503,223		1,548,680	
3.未払金	249,037		215,589	
4.未払法人税等	170,981		172,209	
5.賞与引当金	125,803		39,814	
6.その他	185,480		169,646	
流動負債合計	2,721,389	24.0	2,717,224	24.3
固定負債				
1.長期借入金	2,012,366		2,125,052	
2.退職給付引当金	122,145		121,370	
3.役員退職慰労引当金	346,178		338,216	
4.その他	101,766		110,165	
固定負債合計	2,582,456	22.7	2,694,803	24.0
負債合計	5,303,846	46.7	5,412,027	48.3
(資本の部)				
1.資本金	2,397,550	21.1	1,891,800	16.9
2.新株式払込金	-	-	1,052,800	9.4
3.資本剰余金	2,291,760	20.2	1,519,110	13.6
4.利益剰余金	1,600,828	14.1	1,550,655	13.8
5.その他有価証券評価 差額金	324	0.0	56	0.0
6.為替換算調整勘定	242,649	2.1	231,691	2.0
資本合計	6,047,813	53.3	5,782,730	51.7
負債及び資本合計	11,351,659	100.0	11,194,757	100.0

2.(要約)四半期連結損益計算書

科目	当第1四半期連結会計期間 (自平成16年7月1日 至平成16年9月30日)			(参考) 平成16年6月期		
	金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
売上高		1,791,391	100.0		6,271,529	100.0
売上原価		785,079	43.8		2,980,916	47.5
売上総利益		1,006,312	56.2		3,290,613	52.5
販売費及び一般管理費						
1. 発送運搬費	36,429			127,806		
2. 役員報酬	61,795			223,463		
3. 給与手当及び賞与	145,507			622,357		
4. 賞与引当金繰入額	44,871			18,627		
5. 減価償却費	12,475			43,707		
6. 研究開発費	122,748			479,406		
7. その他	245,272	669,100	37.4	652,125	2,167,494	34.6
営業利益		337,211	18.8		1,123,119	17.9
営業外収益						
1. 受取利息及び配当金	320			1,958		
2. 為替差益	8,432			-		
3. その他	2,796	11,549	0.6	13,108	15,066	0.2
営業外費用						
1. 支払利息	15,979			82,119		
2. 為替差損	-			25,797		
3. その他	25,022	41,001	2.2	34,316	142,233	2.2
経常利益		307,758	17.2		995,952	15.9
特別利益						
1. 貸倒引当金戻入益	37			1,419		
2. その他	103	140	0.0	744	2,164	0.0
特別損失						
1. 固定資産除却損	1,885	1,885	0.1	12,413	12,413	0.2
税引前四半期(当期) 純利益		306,014	17.1		985,702	15.7
税金費用		110,315	6.2		291,775	4.6
四半期(当期)純利益		195,698	10.9		693,927	11.1

### 3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第1四半期連結会計期間 (自平成16年7月1日 至平成16年9月30日)	(参考) 平成16年6月期
	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1.税引前四半期(当期)純利益	306,014	985,702
2.減価償却費	73,401	294,384
3.賞与引当金の増減額	85,989	3,095
4.支払利息	15,979	82,119
5.売上債権の増減額(増加: )	149,051	262,716
6.たな卸資産の増減額(増加: )	36,333	154,600
7.仕入債務の増減額(減少: )	66,303	118,570
8.その他	8,415	46,999
小計	221,278	1,113,555
9.利息及び配当金の受取額	153	1,906
10.利息の支払額	18,223	81,266
11.法人税等の支払額	145,850	291,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,358	742,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1.有形固定資産の取得による支出	328,673	281,853
2.有形固定資産の売却による収入	-	2,027
3.無形固定資産の取得による支出	1,000	44,567
4.その他	5,780	9,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	335,454	334,303
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1.短期借入金の純増減額(減少: )	100,000	224,433
2.長期借入れによる収入	300,000	1,400,000
3.長期借入金の返済による支出	357,756	1,637,564
4.株式の発行による収入	225,600	1,354,800
5.配当金の支払額	125,526	89,855
6.その他	10,535	38,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,217	764,375
現金及び現金同等物に係る換算差額	868	17,787
現金及び現金同等物の増減額(減少: )	345,445	1,154,831
現金及び現金同等物の期首残高	3,026,301	1,871,469
現金及び現金同等物の期末残高	2,680,856	3,026,301

#### 4. セグメント情報

##### 〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期

(単位：千円)

	メディカル事業	メディカル デバイス事業	インダストリアル デバイス事業	計	消去又 は全社	連結
売上高						
外部顧客に 対する売上高	831,300	386,171	573,919	1,791,391	-	1,791,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,840	32,092	155,385	210,318	(210,318)	-
計	854,140	418,263	729,305	2,001,709	(210,318)	1,791,391
営業費用	582,963	274,250	559,917	1,417,131	37,048	1,454,179
営業利益	271,177	144,013	169,387	584,578	(247,366)	337,211

(参考)平成16年6月期

(単位：千円)

	メディカル事業	メディカル デバイス事業	インダストリアル デバイス事業	計	消去又 は全社	連結
売上高						
外部顧客に 対する売上高	2,639,362	1,324,528	2,307,638	6,271,529	-	6,271,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	279,587	175,754	449,697	905,039	(905,039)	-
計	2,918,950	1,500,282	2,757,336	7,176,568	(905,039)	6,271,529
営業費用	1,973,613	1,143,693	2,184,916	5,302,223	(153,812)	5,148,410
営業利益	945,336	356,589	572,419	1,874,345	(751,226)	1,123,119

##### 〔海外売上高〕

当四半期

(単位：千円)

	北米地域	東南アジア地域	その他の地域	計
海外売上高	245,753	240,468	110,963	597,185
連結売上高				1,791,391
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.7	13.4	6.2	33.3

各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米地域 …… アメリカ、カナダ
- (2) 東南アジア地域 …… 香港(中国)、タイランド等
- (3) その他の地域 …… 欧州、中近東等

「北米地域」は、前連結会計年度は「その他の地域」に含めて表示しておりましたが、連結売上高に占める割合が10%以上となったため、区分掲記しております。

なお、前連結会計年度の「その他の地域」に含まれている「北米地域」の海外売上高は357,641千円、連結売上高に占める海外売上高の割合は5.7%であります。

(参考)平成16年6月期

(単位：千円)

	東南アジア地域	その他の地域	計
海外売上高	869,553	676,284	1,545,837
連結売上高			6,271,529
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.8	10.8	24.6